

平成27年度第1回射水市上下水道事業経営委員会議事録（要旨）

日 時：平成27年8月4日（火） 午前9時55分～午前11時30分

場 所：射水市役所布目庁舎 3階301号室

議 事：1 上下水道事業の現況について

2 平成27年度上下水道部主要事業について

【 意 見 】	【 市の考え方 】
【上水道事業に関すること】	
鉛製給水管の撤去事業を、平成24年度まで実施していたが、事業に対する補助金等財政措置について伺いたい。	撤去事業を対象とした補助金等はない。起債対象事業として、企業債を充て実施した。
わずかに残存する鉛製給水管について、今後、撤去をどのように実施するのか伺いたい。	鉛製給水管が埋設されている地域での老朽管更新時に併せて撤去を進めてゆく。
水道料金の年間滞納額及び滞納の主な理由は何か伺いたい。真面目に水道料金を納めておられる方との公平性が保たれるよう厳正に対処していただきたい。	滞納等による不納欠損額は、年間100万円程度で推移している。料金収入に占める割合は約0.05パーセントである。無断転出による未払いが主な滞納理由である。
職員給与費について、平成27年度は前年と比較し増加している理由について伺いたい。	職員数の増ではなく、会計制度改正に伴い新たに退職給付費用を計上したためである。
財政状況について、収益的収支のうち「営業外収益」「特別利益」「受水費」「特別損失」、資本的収支のうち「その他収入」について、それぞれの主な内訳について伺いたい。	「営業外収益」については、長期前受金戻入、「特別利益」については、退職給付引当金戻入が主であり、いずれも会計制度改正に伴う収益である。「受水費」については、県企業局から受水している水道用水に係る費用である。「その他収入」については、配水管路の支障移転に伴う補償費である。
【下水道事業に関すること】	
下水道未接続世帯の方はなぜ接続されないのか、理由を伺いたい。	水洗化に必要な費用負担が新たに発生するなど、経済的な理由が主である。
下水道の年間処理水量について、水道の配水量が年々減少する中、下水処理量が上昇する理由を伺いたい。	新規の接続があることも要因のひとつであるが、豪雨時に汚水管への雨水流入が大きい場合、結果として処理量が増加してしまうことが理由である。
下水道の有収率が目標値を10パーセント下回っているが、今後どのような対策を行うのか伺いたい。	管路の老朽化に伴い亀裂部分や接合部分からの地下水や雨水の流入が、有収率上昇を妨げる要因であるため、管路更新を順次すすめて行きたい。

<p>不明水対策として、昨年度、太閤山地区で不明水調査を行ったが、調査結果について伺いたい。</p>	<p>調査対象の190軒中、10軒の誤接続が判明した。その10件を臨戸訪問し、正しく接続していただけるよう説明を行ってまいりたい。</p>
<p>集中豪雨等による浸水対策について、地域の関心も高く、今後より一層の対策を講じていただきたいが、どのように考えているか伺いたい。</p>	<p>海老江雨水ポンプ場整備をはじめ、浸水被害の発生した地域への対策を優先的におこなっている。また、路面排水が床下浸水の主な要因のひとつであることから、都市整備部と連携し浸水被害の解消に努めていく。</p>
<p>浸水被害対策として、貯留施設の整備が今後の主流となるのか伺いたい。</p>	<p>あくまで、自然流下による雨水管の整備が主であるが、戸破地区に設置した貯留施設のように、地域の状況に沿った整備を今後も行っていく。</p>
<p>浸水被害に備えるためのハザードマップは作成済みなのか伺いたい。</p>	<p>河川洪水ハザードマップは総務課において作成済みである。内水ハザードマップについては作成していない。</p>

【委員会】 1



【委員会】 2

